

質問 日夜頑張っている消防団員に対する費用弁償と団員の数について尋ねる。また、働いている団員が出勤しやすいよう勤務先の会社と協定を結ぶにはどうか。

答弁 (市民生活部長) 当市におけるサラリーマンの団員の割合は68・5%で、年々確保が困難となつてきている。当市の団員報酬は国の基準、近隣自治体を上回っている。

答弁 (安全安心課長) 団員数は、平成25年度465名。会社に対しては、文書で協力依頼をしている。費用弁償については国の基準額を下回って



いざというときの備えを

「防災に対する考えを問う」 倉持 守議員



消防操法大会

質問 おり、今後検討していきたい。

学校を含めた避難場所の耐震工事の進捗状況は。また、学校・自治区での避難訓練は。

答弁 (安全安心課長)

今年度で全ての小中学校体育館の工事は完了する予定。指定避難所27か所は耐震化されている。公民館等の2次避難所については、近年竣工した豊岡公民館以外は耐震化されていない。

答弁 (市民生活部長)

学校では火災・地震に限らず、子ども達の発達段階に応じた避難訓練を行っている。自治区では各自治区の自主的な訓練をお願いしている。

質問

自治体間の応援協定を締結するとともに、姉妹都市構想を考へてはどうか。

答弁 (市長)

生協やセブイレブン等の全国規模の企業、特別養護老人ホーム等の施設、市内の建友会、トラック事業協同組合、ゴルフ場等と協定を結んでいる。また、県西地域の11の首長と相互応援協定を結んだ。姉妹都市は、ゆかりのある地域や東京のどこかの自治体を考えたい。



学校給食は同一献立・同一料金に！

「学校給食について」 石川 栄子議員

質問

学校給食で一番問題になっているのは、石下地区の給食費が50円高いのに質が低いことである。同じ常総市なのだから、豊岡学校給食センター、玉学校給食センターでの同一献立・同一料金を求める。

また消費税増税でさらに生活が苦しくなる子育て世代を救うために給食費はゼロで統一する無償化を提案する。

「子育て都市宣言」をした兵庫の相生市では小中学生はもとより幼稚園児まで給食費は無償である。学校給食を義務教育の一環として位置づけていることから教科書と給食費は無償にする必要があると思う。

答弁 (教育部長)

同一献立は厨房機器の違いにより、統一には時間がかかる。同一料金は公費負担の違いにより実現されていないが、協議を継続する。無償化は、様々な決まりに従い応分の負担をいたしたい。ご理解いただきたい。

答弁 (市長)

50円の格差を是正するためには、まず下妻市に負担を求めるのが優先だと思う。無償化は国が全国的に保障すべきで、国に求めていくのが筋だと思う。

質問

アレルギー対策は進んでいるか。また、委託業者との相談は進んでいるのか。

答弁 (教育部長)

要請のあった児童生徒に対し、アレルギー物質を含む食材の提供日と献立名を学校長を通じ保護者へお知らせしている。今後は、夏休み前に保護者説明会を開催し、事故を未然に防ぐ対応をしていく。

答弁 (学校給食センター所長)

内部の話し合いはしたが、業者との相談はまだ進んでいない。



玉学校給食センター